

## 児童向け地域の職業を知るハンドブック（仮称）作成に係る 管内小学校からのヒアリング結果概要

標記業務の実施に当たり、当センターが令和5年5月に、管内の小学校（7校）を対象に、仕様等に関してヒアリングを行った結果（一部抜粋）を取りまとめましたので、御活用願います。

※ 一部相手方の個人的見解を含むこと。

### 1 ヒアリング結果

#### (1) 全体的なコンセプトや主な掲載内容について

- ・ 身近な仕事の「楽しさ・喜び」や「やりがい・かっこよさ」、児童の「やってみたい」、「おもしろそう」を引き出せるような内容だと良い。
- ・ 詳細な企業情報というよりも、児童が身近な仕事について興味を持つきっかけとなるような、入口の段階にとどめるような情報量が良いのでは。
- ・ 普段の生活に関わりが深い企業だと興味を持ちやすい。
- ・ 沿岸地域・宮古地域の特性を踏まえた視点があると良い。
- ・ 働く人たちがどんな暮らしをしているか（好きなことをしているか）にも興味がある。
- ・ 授業では「なぜこの工場・企業を調べるのか」という導入が重要なので、地域の特性など、身近な生活とのつながりや気づきを踏まえて、仕事や企業の紹介があると見学や体験に結びつけやすい。

#### (2) 仕様（デザインや構成等）について

- ・ 1テーマあたり見開き完結で複数のテーマを取り扱っていると、児童にとっても飽きにくく、授業でも活用しやすい。
- ・ 文字数が多いものよりも、イラストや写真の多用が良い。初めて見るものは、写真よりもイラストの方が伝わりやすいこともある。
- ・ 漢字へはふりがなをふり、平易な表現とすること。
- ・ 電子データのほか、短時間でも良いので動画などがあると良いのではないかと。

#### (3) 児童の身近な生活場面や企業との関わりについて

- ・ 家庭生活、授業・給食・遊びの時間、行事、通学（バス）、買い物（スーパーや飲食店）、検診（医師、歯医者、看護師）や点検業者（電気等）、インフラ、ごみ収集 等
- ・ 福祉施設との交流もある（医療・介護関係は感染対策のため近年は実施していない）。
- ・ 授業では水産加工食品や「いかせんべい」の工場、給食センター、酪農、消防署等の見学のほか、各市町村内で規模が比較的大きく有名な施設への見学、企業から学校への出前授業がある。
- ・ 漁業だけでなく農業や、地域によっては酪農も身近だと思う（家業）。
- ・ コネクタ関連に特化して授業で取り扱うことはあまりないので新鮮なのではないかと。

#### (4) その他

- ・ 2～3年生の生活科の授業や、4～6年生の社会科（産業・工業等）や総合的な学習の時間（職業観・キャリア形成）での活用が想定される。
- ・ 総合的な学習の時間の企画に苦慮している教員も多く、ヒントにできるのではないかと。

## 2 その他

- 全児童に、授業で使用するタブレットを配布されていること（本格的な使用は中学年以上が多いとのこと）から、紙冊子だけでなく、データの閲覧も想定されること。
- 上記1のヒアリング内容は、必ずしもすべてを成果物に反映するべきものではないが、予算の範囲内で、可能な限り学校側が活用しやすいものとする。
- 今回ヒアリングを行った学校からは、受託者からのヒアリング対応についても承諾を得ていること（学校の情報は、受託者決定後、当センターから別途情報共有）。